

サンビレッジ高平台だより

# 和顔愛語

初夏号

平成23年5月発行

社会福祉法人 郁栄会

特別養護老人ホーム サンビレッジ高平台

事務長 木村 一樹



新緑の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの東北地方太平洋沖地震により、被害を受けられました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、当施設も7月には開設1年を迎えることができます。この1年は初めての事がたくさんあり何もかもが勉強の1年でした。2年目は地域密着型特養として地域に根差した施設づくりを進めていきたいと思っております。

私が日頃大切に思っている事は“縁（えん）”です。人と人とは“縁”で繋がっています。この“縁”＝“めぐりあわせ”により私たち職員と入所者様・ご利用者様・ご家族の皆様・地域の皆様ともめぐり逢う事が出来たと思っております。何千、何万という人の中から繋がった“縁”なのでこの“縁”を大切にしていきたいと考えております。

“縁”あって当施設に入所された皆様に「サンビレッジに来ることが出来て良かったと思われるような施設づくりを職員一丸となって目指していく所存でございます。

# 施設 イベント



開設して初めての桜の花見には、弁天山や八景水谷公園へ出かけました。  
天気もサイコーに良く、満開に近い桜を見ることが出来ました。  
やっぱり桜は良いですね！！



デイサービスご利用のみなさま



地域住民のボランティアの方にも同行して頂きました。↓



さくら吹雪の中、厨房スタッフ手作りのおやつなどをおいしく頂きました♪



# 地域交流スペース

月に一度のペースでボランティアの方々に来て頂くなど、定期的に地域の方々との交流をしています



◇H23年 2月25日◇

『十六夜会』の皆様、日舞の披露をして頂きました。迫力のある踊りを5曲踊って頂き、ご利用者様の目もキラキラと輝き、感激のあまり涙されている方もおられました。



◇H23年 3月11日◇

以前にも一度、ボランティアに来て頂いた可児(か)研二さんにお越し頂き、『憧れのハワイ航路』『みかんの花咲く丘』などをピアノ演奏に合わせて楽しく一緒に歌いました。



◇H23年 4月28日◇

コーラスグループ“コールf”による童謡コンサートが行われました。懐かしい曲以外にも写真のように歌詞を順番に広げながら歌われる手法に新鮮さを感じました。



◇H23年 5月5日◇

筑前琵琶熊本旭会 会長の小島旭寶(キョクホウ)様による琵琶の演奏が行われました。『五木の子守唄』や『耳なし芳一』等を演奏され、珍しい琵琶の音色に皆さん聞き入っていました。

ボランティアの皆様、ありがとうございました。

## 編集後記

四月なのにまだまだ寒い...と思っていたら、連休明けには梅雨のような蒸し暑さが...。急な気温の変化に体調を崩される方も多かったのではないのでしょうか？

東北の方々の大変さを想うと、こちらでのいつもと変わらない生活が出来ている事はほんとうにありがたいことですね。

サンビレッジ高平台

広報委員会



表紙の「和顔愛語」  
わかんあいご  
とは、おだやかな笑顔  
で人に接し、やさしい  
言葉をかけてあげると  
いう意味です。



←定期的にネイルアートの学校から実習も兼ねてボランティアに来て頂いています。爪がきれいになり、実習生の方々との会話も楽しいと好評です。

↓両手に花でご満悦



←4月から毎月第二木曜日に大窪地区の上田様ご指導の下、習字ボランティアが開催されることになりました。書き始める前に、季節の歌をみんなで歌ってから始める（歌と書く内容は関連あり）という斬新なスタイルに参加の皆様はとともリラックスされ、集中して書いておられる様子でした！

迷いなく、熱心に書かれています。  
御歳98歳！



## 新職員紹介

個人情報保護の為、職員の写真と氏名はホームページでは非表示とさせていただきます。